

今日は、第一回目のふるさと復興プロジェクトの日です。仙台市内全部の小中学校のお友達約8万人が「ゴミ拾い活動」と「あいさつ運動」に取り組みました。特に、この間三浦先生からお話がありましたが、芦口小学校では4.5月と「気持ちのよい挨拶をしましょう」という目標にしていますよね。さあ、どのくらいできたかな。私たちの芦の口が、隣の八木山、西多賀、鹿野、長町がというように、どこの地区でも元気のよい、そして気持ちのよい挨拶が交わされると仙台市全体が、さわやかで素敵な雰囲気になります。そして、ゴミ拾い活動も行うことで、学校だけでなく地域が、仙台市内全体がきれいになると、どんな効果が、いいことがあると思いますか。元気のなかった人たち、病気がちの人たちが、少し前を向いて元気を出していこう、とか、仮設住宅に暮らしている津波で家を流された人たちも、明日に、未来に希望を持って頑張ろうとか、そういう気持ちに変わっていく、そんな効果が、そういうよい働きが挨拶やゴミ拾い活動にはあるんですよね。

これからも、きれいな町 そしてあいさつが響き渡る町 元気な街 仙台 につなげていきましょう。

ところで、校舎の南側においてあるクロマツ、もう何度か水やりをしましたか。クロマツの木、何のためににおいてあるんでしょう。いつまでにおいておくんでしょう。何かに使うんでしょうか。知っている人は。（答えてもらう）

そうですね。津波で何にもなくなってしまった海岸に持って行って、海から陸地を、そこにある家や畑を守るために植える クロマツの木なんです。全部で300本あります。この間、係の三浦先生が、各学級や学年の分担を決めてくれました。そばに行くと分かるんですが、何かクロマツを見て、気がついた人はいませんか。クロマツの色です。

実は、ここに持ってきています。3月から4月にかけて寒い日が続きました。雨も雪も降らずに乾燥した日も続きました。それで、枯れかかってしまったものもあるんです。色が茶色になっているのは、寒さや感想に負けてしまったクロマツなんです。でも、全部茶色にならないで、まだ緑色の部分が残っているのもあります。皆さんには、どんどん緑色の部分が広がれー。どんどん元気になって、大きくなーれ。そんな願いや祈りを込めて、水やりを一生懸命続けてほしいと思います。予定では6月頃には、海岸の方に持っていくということです。芦の口で育てる時間もあと1か月ぐらいです。丈夫な木に育ち、海から陸地や私たちを守るクロマツになるよう、この後水やりを頑張りましょう。

最後に、皆さんから募集して、皆さんから選んでもらった年間スローガンの発表です。これに決まりました。

「心を一つに みんなで進もう 輝く未来へ」 6の1 N君作

Nさんに拍手。では、このスローガンの下で、いろいろな行事や勉強を頑張ってください。特に、目の前の運動会を頑張ってください。

